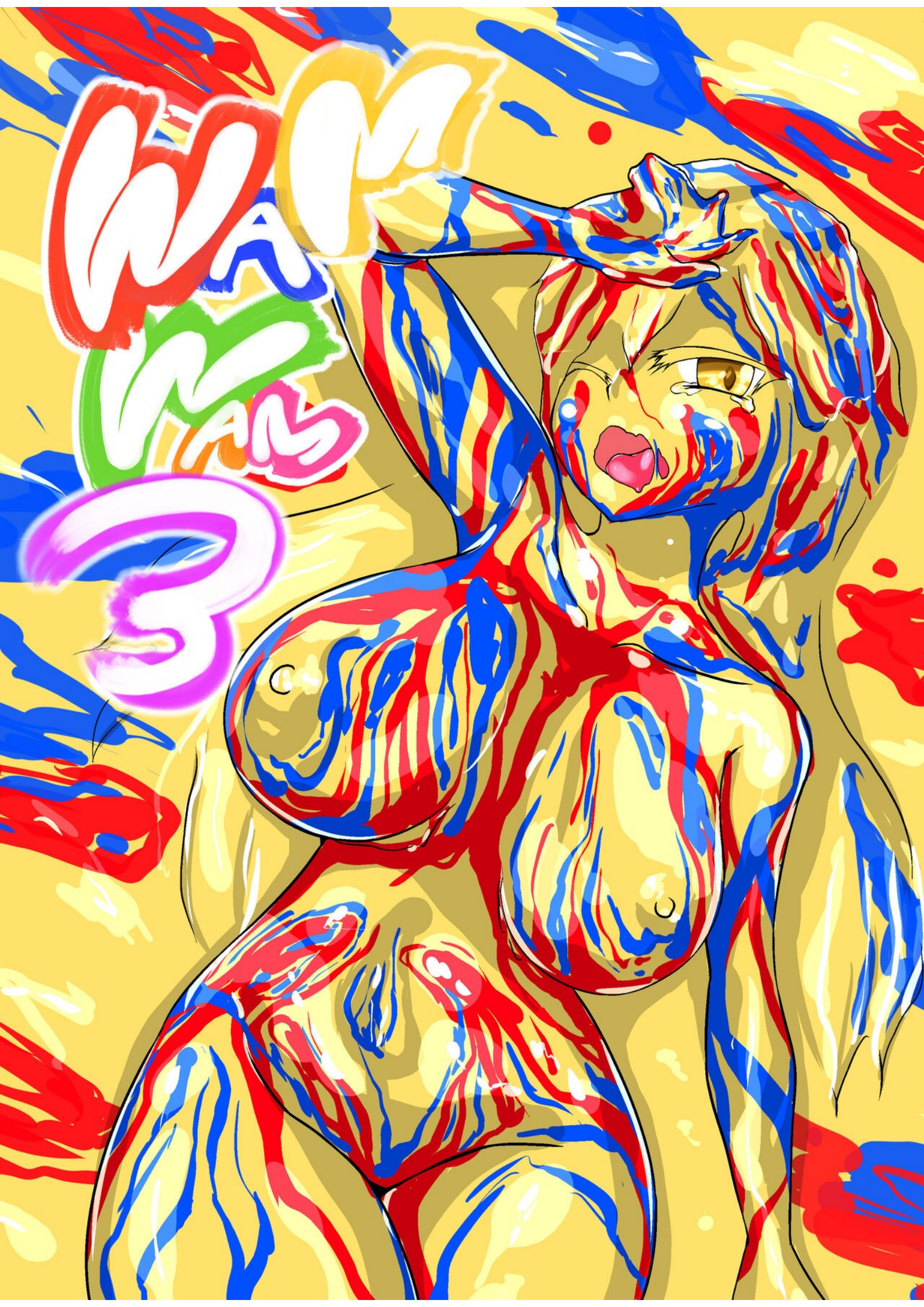
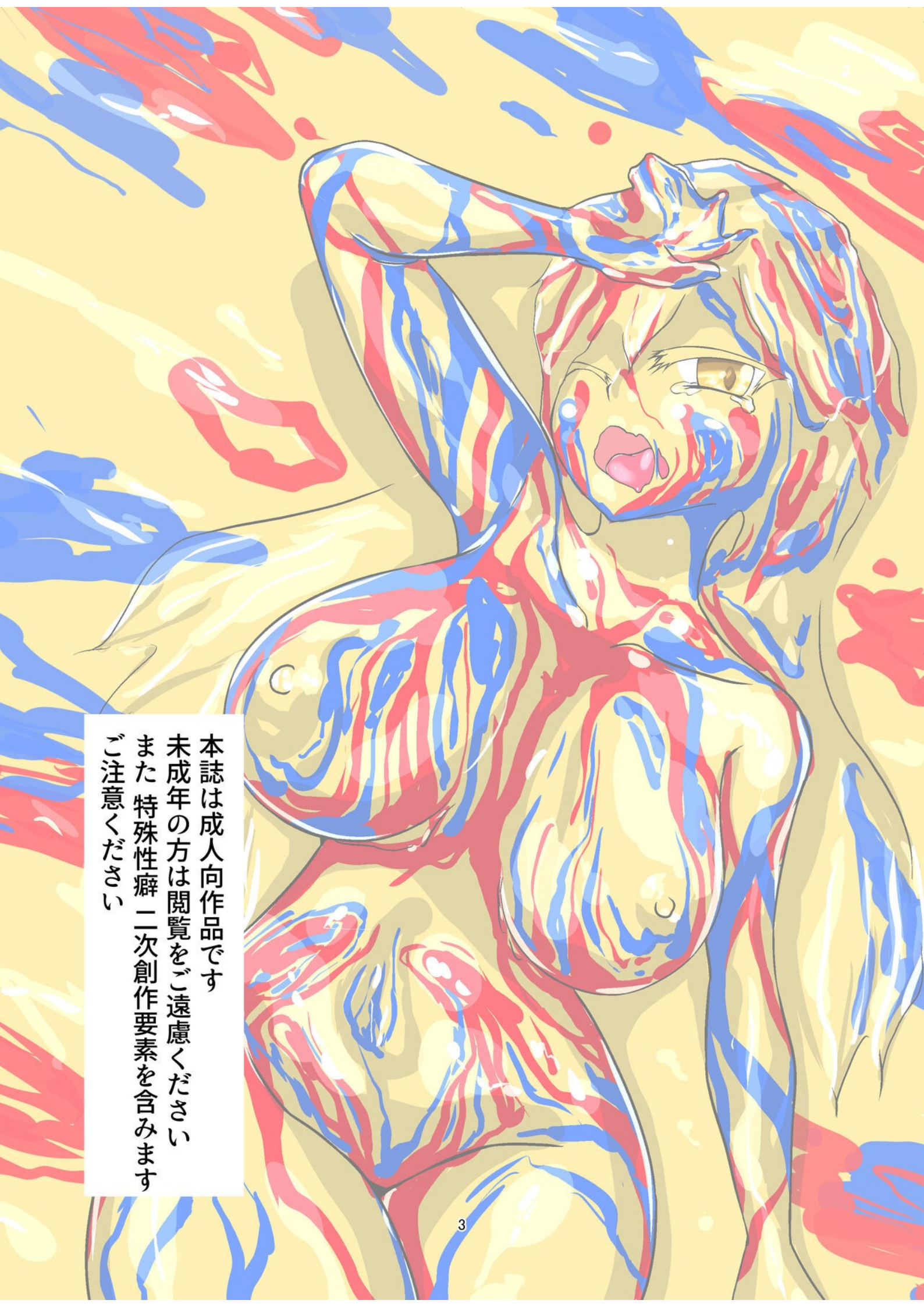






本誌は成人向作品です
未成年の方は閲覧をご遠慮ください
また 特殊性癖 二次創作要素を含みます
ご注意ください

く前書きく

えー始めての方ははじめまして
久しぶりの方はお久しぶりです。

とろろ首領です。

最後の編集作業であってタイミング
で寝落ちしてしまい今猛スピードで

この文を打っております。

何とか二回連続当選ですね。

しかもなんと、ついにメッシー系を

扱うサークルが増えたらしく(お隣

でしかも知り合い)、このままメッ

シーサークルが増えていくことを

期待するばかりです。みんな描いて。

えーではここいらで、この本を手

取っていただいた皆様と、印刷所の

方々に感謝しつつ、この場を締めと

させていただきます。

5p
く
13p
とろろ首領

15p
く
16p
Aim

17p
く
20p
ニコロ

21p
く
23p
taramin

25p
く
28p
はるま

29p
く
30p
ヤネウラ

31p
く
33p
teto

35p
く
37p
あとがき

がッッ

やっほー
カメラ映ってるー？

今日はペイントプレイの
撮影したいと思いまーす

今日の素材はあ……

増粘剤でドロドロの
ぬっとぬとにした
絵の具でーす



うっわ
どろどろお……

ネバネバしてるし……
エロっ…興奮してきた……

べっ
とっ

どろ
どろ

ん
て

ん
ん

数分後

ん
ぶっ

ん
ぶっ
♡

えへえ…全身どろどろお……

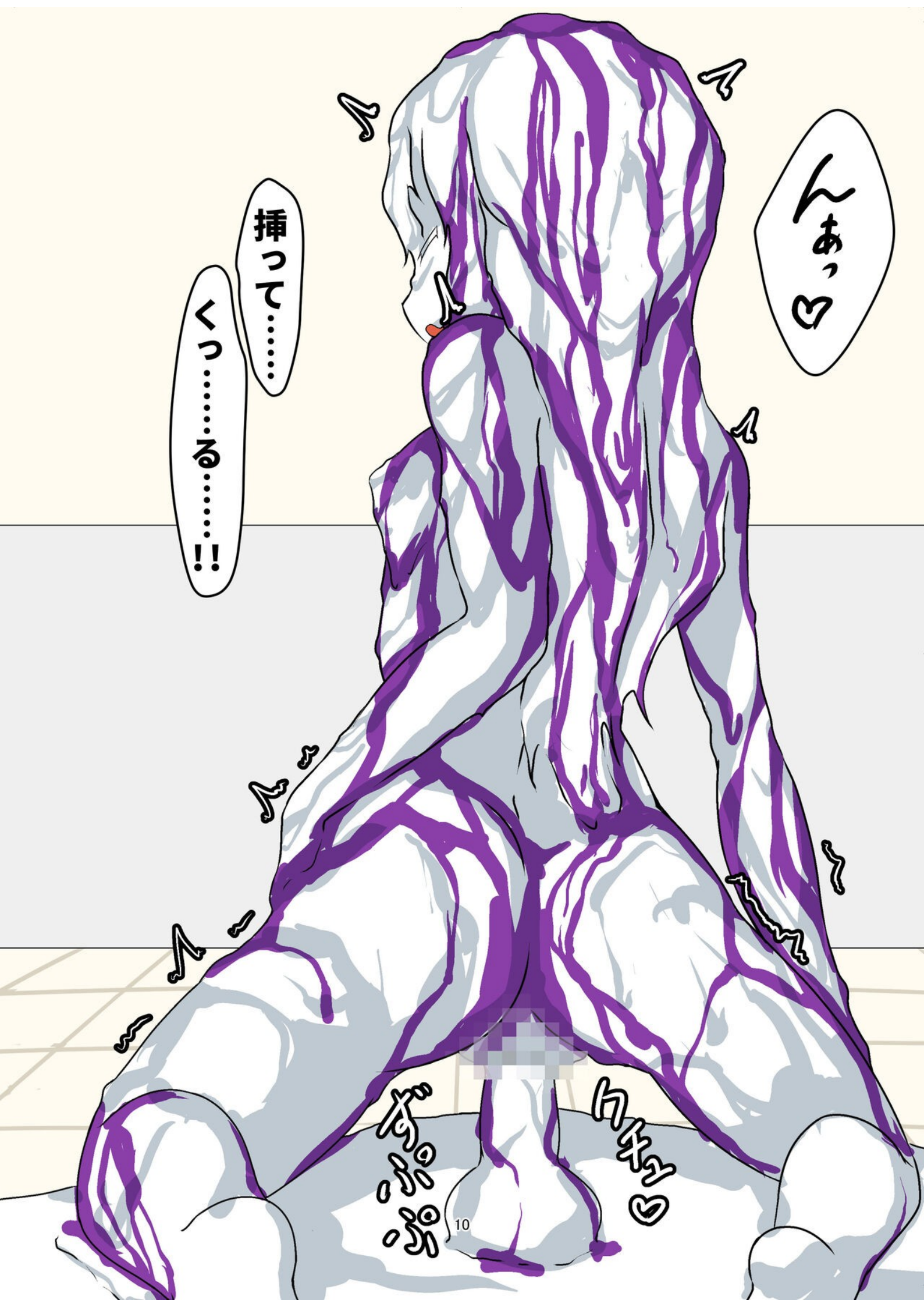
ぱ

とり



そうだ

今日はコレ
用意してるんです



お♡んあ♡

まんこの♡
中♡

プン

ペイント♡

ヌルヌル♡

プン



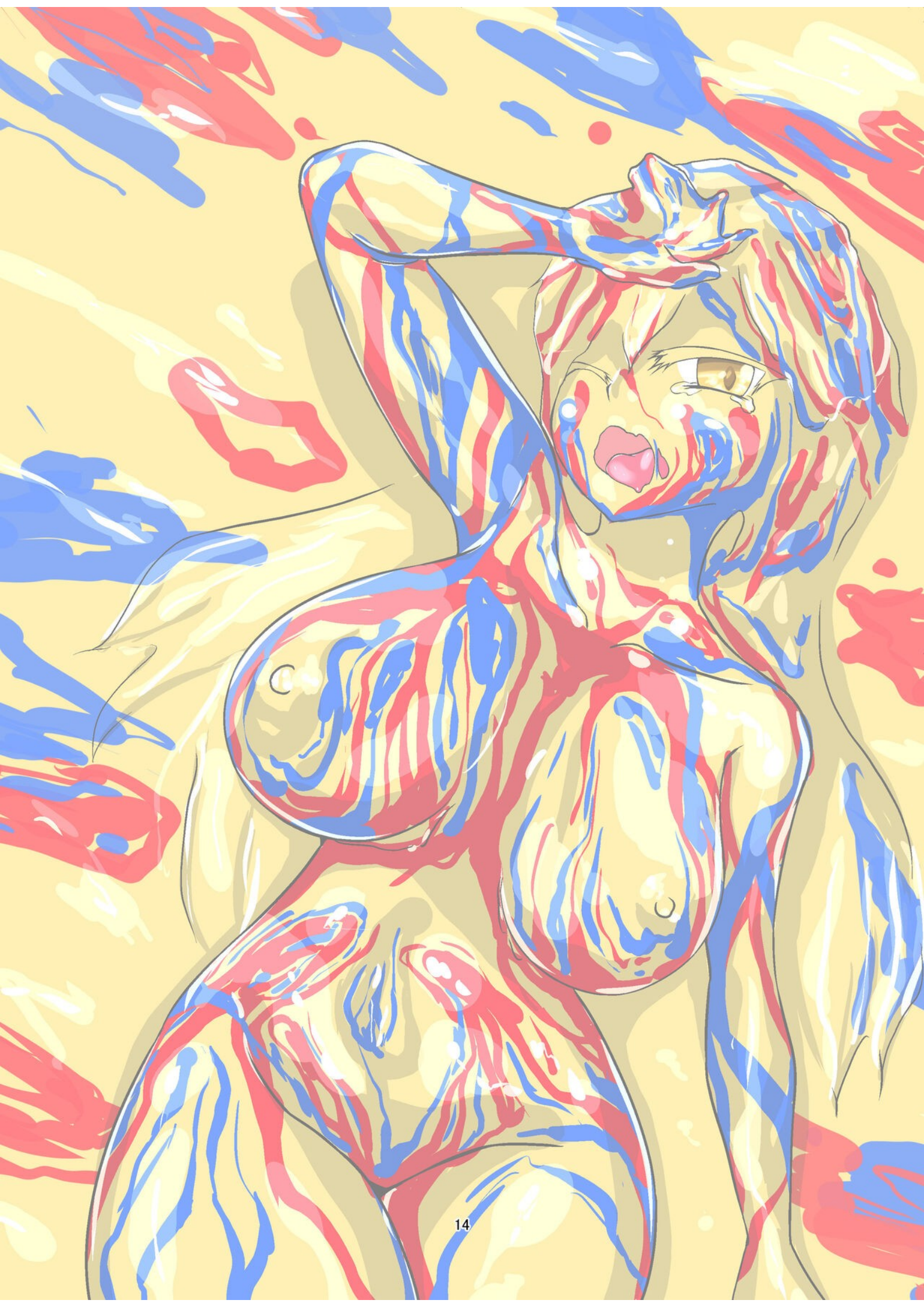


んあ♡

ご視聴っ♡

ありがとうございました♡

アホ♡







100

10

50

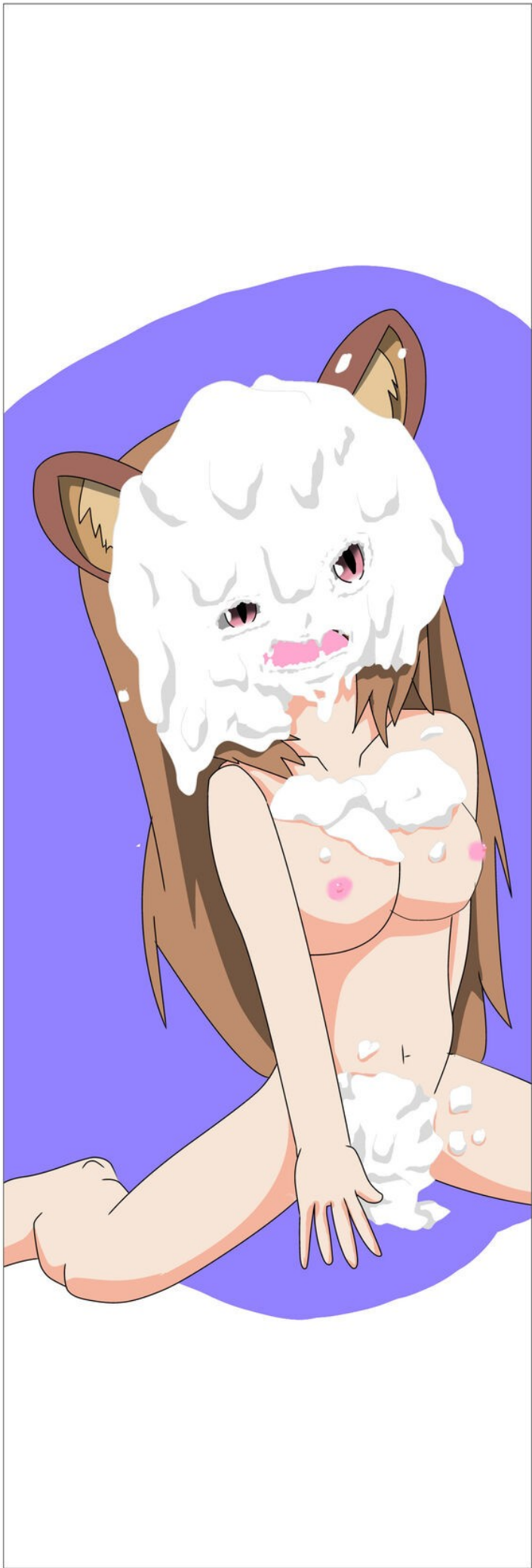
どろお

5日後...

映ってるのは
私なのに何回見ても
興奮するわねえ

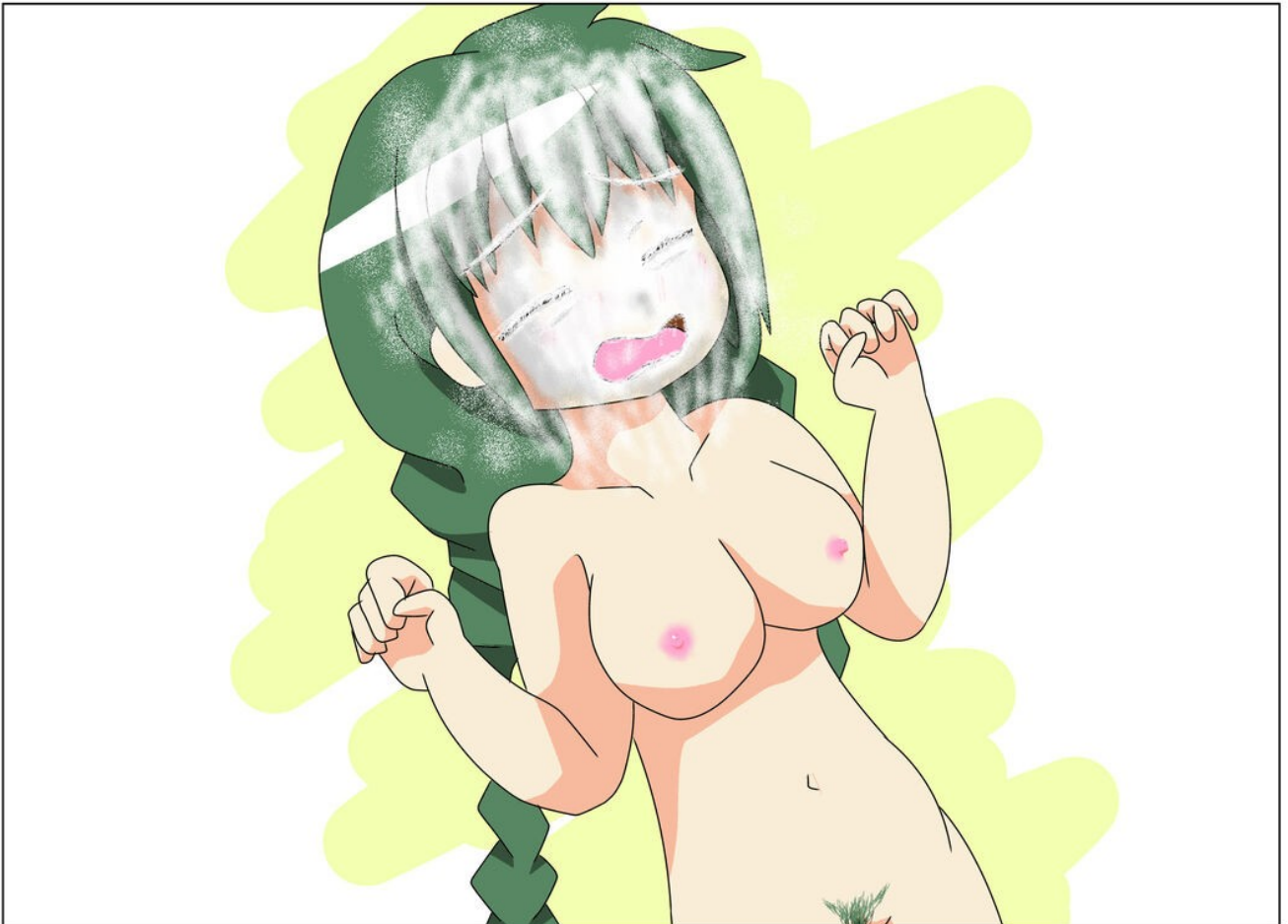
この前の動画
もう一万回再生
されてる

END. *Am*









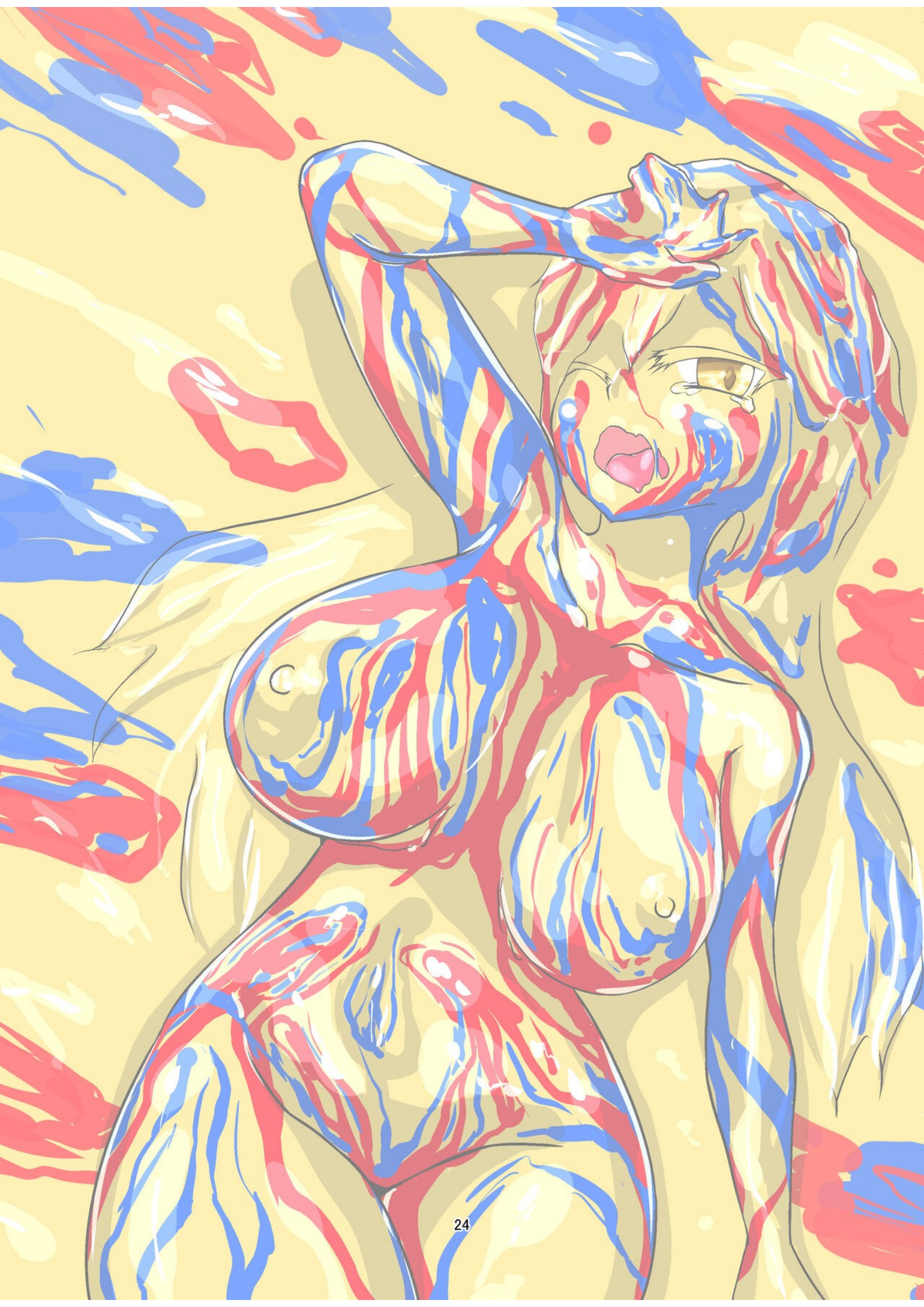
アニメではクリームまみれになってたので、意味もなく粉まみれになってもらいました





Summer
Collection





今日は赤城さんを
たぶらかした
吹雪さんを：

イジメツシーで
お仕置きします

えっ!?
その刷毛で絵の具
塗ってくれる
んですか
加賀さん!!
おねがいしまー

キ
リ
ッ

ぶきゅぶきゅ



しっかり
反省するのよ？

んっ：
おっぱいグリー
しないでえ：

そう：
おっぱいは
嫌なの

じゃあ…



洗面器に顔でも
突っ込んでなさい！！

んっっ！！



ここが丸見えだと
恥ずかしいでしょ？
塗ってあげると
いいわ

ビク

ぬる

ビク

グロ

ドク

グロ

グロ

そんなはしたない
格好をして…
いいわ…
ありったけの
絵の具で汚してあげる



どう？吹雪さん
反省した
かしら？

はは…
はい…

ドロドロ

でもこれで
終わりですか？

ドロドロ

もっと絵の具
ください…
加賀さん♡



この子
本物の
ドMだわ…



吹雪さんは
真性だから
仕方ないわ…

お仕置き
はした
喜ばせた
だけ…

翌日
めちやくちや
赤城さんに
慰めてもらった
加賀さんであった

甜花……
今日は、なーちゃんを……

見た田さんくも双子アイドルの
はただけが絵の具まみれにされちゃうような
メロメロが描きたかったんです。やねうら

絵の具でいっぱい、
可愛く彩ってあげる……！！

はぁ……
はぁ……♡

絵の具まみれの……
なーちゃん……

昨日いっしょに食べた
アイスみたいで、きれい……♡

いへへ……

どろ……

んっ……

フホッ

ぬる

グチュッ

VRでもUIは大事

てと

「ふっ…ふふふ…とうとう買っちゃった…五感で楽しむVR機器…日頃溜まりに溜まったストレスも、誰にも言えないメッシー性癖もこれで…ふふふふ…」

気色の悪い笑みを浮かべながら、私はいそいそと箱を開封し、セッティングを行う。高価な買い物だったが、メッシー性癖仲間が大絶賛している体感エロゲをやるために、ボーナスを全部注ぎ込んだ。

「これを被って…あとはネットで購入したソフトを起動するだけ。わああ…凄い」

ホーム画面が立ち上がり、次元が拡張していく。周りを見渡すと、まるで自分がこの無機質で非現実的な空間に居るのかのような感動を覚える。そして、このリアルさにまた興奮が高まっていくのであった。

目的のソフトを起動すると、かわいらしい猫を模したサークルロゴのあとに、簡素なメニュー画面が現れる。『性癖』というボタンに触れると、慣れないエロ単語が数百個表示される。多少面食らうが、私はその中から、異常性癖というカテゴリの中の『メッシー』を見つけ出した。

「異常性癖…私って異常性癖者…？いやいやいや、そんなことないでしょ。みんな恥ずかしがっているだけ」

『メッシー』に触れると、チュートリアル開始ボタンが点滅した。はやる気持ちを抑え、少し震えながらボタンに触れる。

視界が暗くなり、ロードが始まる。ドクン…ドクン…と無音の空間に心臓の音が響いた。

「ようこそ」

耳元でささやかれ、ビクッ！と体が硬直する。振り向くと、白いドロドロと黒いドロドロをそれぞれ纏った人型のキャラ

クターが2体、ニコニコと笑いながら手を振っている。少しぎこちない動きではあるが、技術の進歩は凄いなと感動した。

「私はホイップ。へー…あなた、汚れフェチなのね。でも凄くドキドキしてる…初心者さん？」

「私はタール。ふうりん。私は出番無さそうね。でもこの性癖を初回起動で選ぶなんて、かわいらしい顔して、結構変態さんなんだ。」

また変態と言われ、恥ずかしい。私は多少Mっ気もあるのだろうか。

「それじゃあ今からチュートリアル。今からやるのが、凌辱度0%のプレイ。」

ホイップは自然な動作で近づいてくると、手からモコモコとクリームを生み出し、両手で差し出してくる。ニコニコと笑いながら、触ってみてと差し出され、私はドキドキしながらそれに触れた。触感が感じられる。噂は本場で、実際に生クリームを手でこねているような感覚が気持ちいい。夢中で両手に塗り広げ、楽しんでみると、スウーっとクリームがエフェクトとなつて消える。名残惜しい。

「ま、姉ちゃんを選ばないと思うけど、今からやるのが、凌辱度MAXのプレイ」

タールが消える。と、泥の塊が凄スピードで飛んできて顔を直撃する。衝撃で後ろに倒れこむと、グジュジュ！と受け身を取ろうとした手が飲み込まれた。顔にドロドロがへばりついてよく見えないが、泥沼に手足を取られた直後、一斉に意思をもった泥が私の中に入り込もうとする。…と、視界が開ける。ドロドロは跡形もなく消え去っていた。

ドクンドクンと心臓が高ぶる。あんな事されたら…

「大丈夫か？まあ、これは上級者向けだから、姉ちゃんが経験積んでから選んでくれよな。」

「それじゃあ私たちはこれで。私は凌辱度が低いプレイ、タールは凌辱度が高いプレイであなたを案内するわ。また会えますように。」

そういつて霧散する彼女たちと入れ替わりに、メニュー画面が現れる。

『清潔さ・凌辱度・プレイ時間』

左右に動かしてお好みを選択してください。と書いてある。
(タールちゃんのも正直やってみたいけど：最初は大人しめでいいよね：)

私は清潔さを一番左に、凌辱度を一番左：から少し右にセット、プレイ時間を2時間にセットしOKボタンを押す。

多少のロードを挟み、タールちゃんが現れる。

「えっ：？」

「えっ？姉ちゃん？」

二人ともポカンとする。

「そ、そんな顔して：姉ちゃんド変態なんだな：」

「えっ？なんのこと？」

「ま、まあ恥ずかしがらなくてもいいんだぜ。ここは姉ちゃんみたいなウルトラスーパード変態の樂園さ。好きなだけ楽しんでいってくれよな」

「？？？？？」

タールちゃんが消えると視界もがらりと変わる。

私は、頭と手を拘束された状態だった。まるで見世物：もしくは処刑台。拘束台はステージの上にセットされており、客席には豚や馬をあしらった化け物が私を見てニヤニヤと笑みを浮かべている。

(もしかして：もしかして：さっきのメニューって、左と右が思っていたのと逆：？)

サァーっと血の気が引いていくのがわかる。早く強制終了しなければ。

「姉ちゃん。凌辱度80%以上はプレイ終了までログアウト出来ないぜ。説明書に書いてあったろ。：あくそういう『フリ』か。流石だな」

どこからともなくタールちゃんの声が聞こえる。

あたふたしていると、ステージ上に強そうな魔物が現れる。オークと言うのだろうが、のしのしと歩いて来る。私の腕ぐらひはありそうな男性器をブラブラと揺らしながら：

心臓がうるさいくらいに鳴っている。近づいてきたオークは、先ほどのホイップちゃんのように手のひらを重ねてこちらに向けてくる。呪文を唱えると、ゴボゴボと緑と黒が入り混じるおぞましいヘドロを湧き出させ、私の顔近くに差し出してくる。

「く、くさい！やだ：こっち向けないで：」

このまま顔にヘドロを塗りたくられるのかと思ったが、手は遠ざかっていく。ほっとした瞬間、オークは自分の男性器にヘドロを塗りたいくらい始めた。ネチョネチョと音を立てて下に自分のおちんちんを抜き、零れ落ちたヘドロも丁寧に塗り広げていく。私は、そのおぞましい光景と、この後何が行われるかを想像して震えがとまらない。

ポトン：ポトン：とヘドロを滴らせながら、おちんちんがこちらに差し出される。ちんちんの臭いと、濃いドロのようなヘドロ臭に意識が飛びそうになる。オークは口に強引に入れようとしますが、私は歯を食いしばり必死に耐える。鼻で息をするたびに涙が出そうになり、何度目かの呼吸で耐えられず、口で呼吸しようとしてしまう。その隙をオークは見逃さなかった。

口の中にヘドロまみれのおちんちんが突き入れられ、濃厚なヘドロの味が口いっぱいに広がる。

「ぐんぐんぐん！！！！」

大きき割にはやわらかく、口内を埋め尽くすおちんちんは、余すところなくヘドロを塗り広げる。

味と臭いに頭が真っ白になっていると、ちんちんがブルブルと震え、喉奥に射精される。ビュルビュルネチャネチャの精液とヘドロが混ざり合い、口の中を満たす。鼻からも逆流し、口の隙間から白と緑と黒のドロドロが流れ落ちる。

満足したのか、私の口からちんちんを抜くと、汚れを拭くようにヘドロまみれのちんちんを顔にこすりつけてくる。鼻から逆流したヘドロはおそろしい臭いを脳内で主張させ、胃に落ちていった魔物の体液が全身を発情させる。

（こゝこれゝ無理ゝ死んじやうゝ）

バーチャルだということのを忘れるような体中の火照り、乳首やクリトリスは痛いほど勃起し、口はだらしなく開いてヘドロと唾液と精液をだらだらと垂れ流す。

グジュグジュツという音があたりから響く。顔についていたヘドロでよく見えないが、目を凝らすと透明な箱が用意されていた。3M四方ほどの透明な狭い箱の中に、紫色の生物がゴボゴボと泡を立てながら蠢いている。ポ○モンのベトベト：のようなそれは、透明な箱に自分の体から噴き出すヘドロを塗りたくっていた。透明だったそれは瞬く間に紫色の箱になり、グジュジュという不気味な音だけが聞こえるようになった。

（ああゝあんなゝあんなのにめちやくちやにされたらゝ）

愛液がドロリと流れるのを感じる。

期待と恐怖が入り交じる私を、オークは持ち上げ、箱の上に案内する。まるで磔刑に処されるように、階段を上がるたびに、箱の中のドロドロの臭いに支配されていく。あんなに顔中へドロまみれになったのに、顔を背けたくなるほどの悪臭。こんなの全身で浴びたらおかしくなっちゃうゝやだゝ

箱の上にたどり着いて、背中が押される。落ちる寸前、恐怖のほうに勝ってしまい、オークのちんちんにしがみつくと、客席は下卑た笑い声に包まれるが、私はそれどころではない。

勃起して固くなったそれを全身で必死に擦りあげるが、無情にもおちんちんは柔らかくなっていく。オークはまた手からヘドロを湧き出させ、ちんちんの根元から流してくる。そのドロドロがどんどん私のほうに向かってくる。

「やだゝやだあゝ」

濃厚な媚薬成分を含む臭気を胸いっぱい吸い込みながら、悪あがきをする。ヘドロが必死につかんでいる手まで流れてくると、すぐにずるずるとずり落ちた。

「……っ！！！」

悲鳴を上げながら濃厚ヘドロ風呂へ落ちていく。背中からドリと落ちた。もったりとしたヘドロを全身にまといながら立ち上がると、声にならない叫びをあげながら逃げようとする。が、そこは箱の中。外ではヒト型のヘドロが何かを叫びながら自分の体を使って壁を汚している光景に沸き立っている。

魔物がヘドロを触手のように伸ばし、私の穴という穴に侵入してくる。求めていた快楽にすぐさま絶頂する。口がふさがり、鼻で息をするたび悪臭が脳を直撃し意識が軽く飛ぶ。

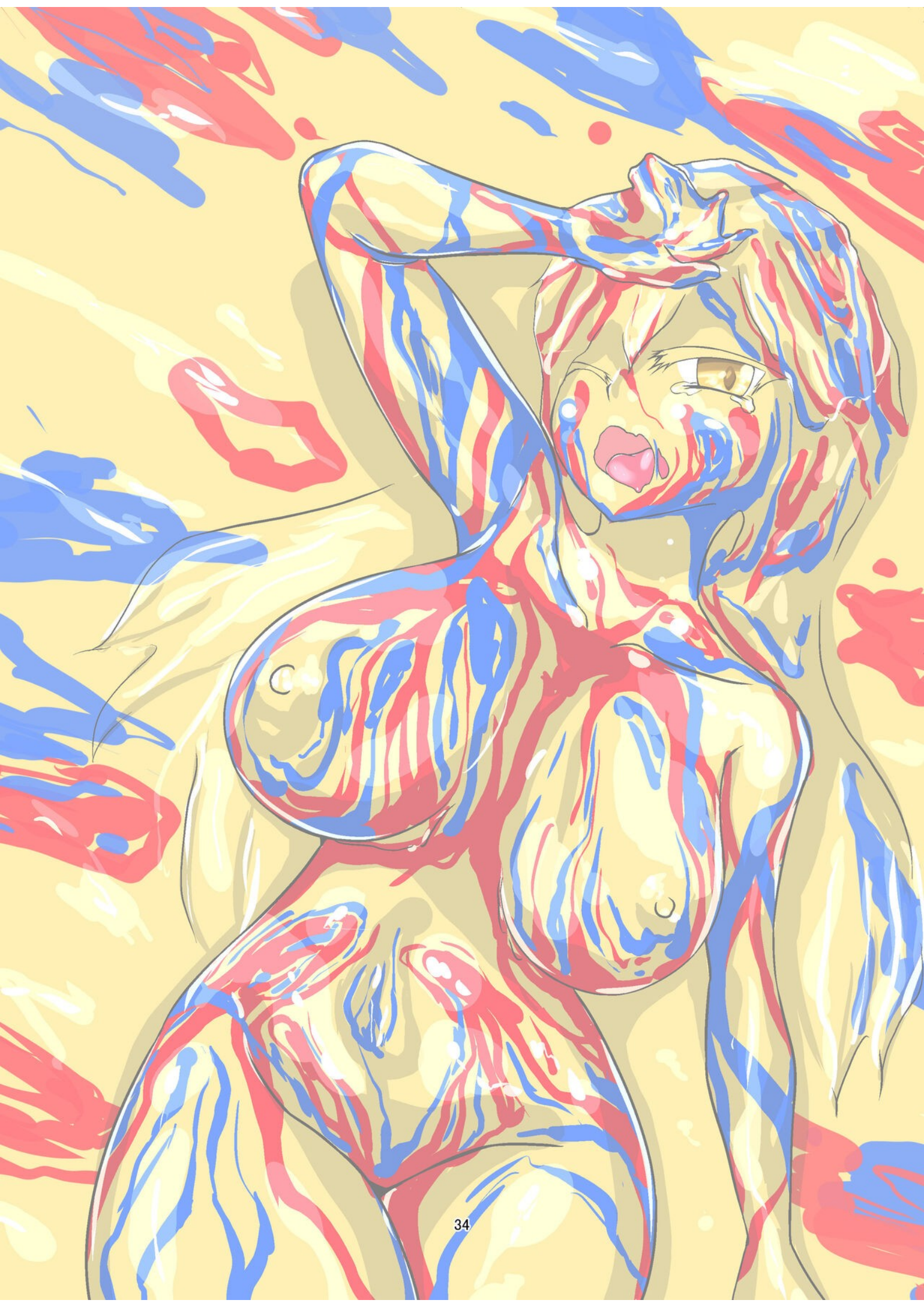
「こんなゝこんなのゝ！しゅごいゝゝしゅゝすぎゝゝ」
触手を体中に纏わりつけながら、魔物がヘドロをドロドロと頭からかけ流してくれる。生み出されたばかりの温かいヘドロが体中を埋め尽くす感覚が気持ちいいゝ

何度も意識が飛び、何度も絶頂する。気づいたら気絶していた。

……いつのまにかホーム画面、白い部屋で横になっていた。「おお姉ちゃん。どうだった？見事な乱れっぷりだったぜ。あれだけ気持ちよくなってくれたら私たちも嬉しいな。満足したか？」

私はすぐに答える。

「い、今のゝもう一回ゝお願いゝ」
タールちゃんにはにつこりとほほ笑んだ。





とろろ首領
twitter : @DON_tororo
PixivID : 12268828

ほああああああああ!!
締め切り! 締め切りやば
いの!
……えーはい、皆様いかが
だったでしょうか?
今回もペイントでいって
みました。見栄えが良い
せいか、描いてて楽しい
んですよね、ペイント
今回は、イラストCGを
意識して、一枚絵を複数
にしてみました。
一応定点カメラ意識だけど
ぶっちゃけ難しすぎて
できてないっすねコレ
あ、そうだ最後に
もっとメッシー勢増えて



Aim ver2.0
twitter : @messy_aim
PixivID : 22403373

初めましての方は初め
まして。
既に知ってる方は
おはこんばんにちは。
ニコ(あいむ)と申します。
今回2年ぶり?に
参加しました。
ページ数は2ページと
少ないですがその分
たっぷりどろどろに
しているので許して
ください(笑)
そうそう、最近Twitter
とピクシブの他に
“ピクシブFANBOX”
というものを始めて
みました。
いろいろお絵描きを
投稿できる場所が
増えてうれしい
ものです。
それでは皆さん
ありがとうございました!
Thank you!



ニコロ
twitter : @niccolooffirenz
PixivID : 14814958

どうしてパイ投げするアニメは
増えないんでしょう。
もっとぐっちょやぐちゃになれば
いいのに。
『盾の○者』は例のパイ投げの
シーンがきっかけで一気見
しました。
魅力的なキャラには仲よく
パイ投げしてほしい。
全裸で。
全裸で。
粉まみれにもなってほしい。
全裸で。
全裸で。

：移行が面倒で
放置しているだけです

新しいパソコンを買って
1年になるのですが、
隣に置いて今までのパソ
コンで絵を描いていると
高性能な雰囲気により
とても快適になった
気がします。

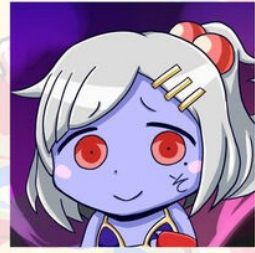


taramin
twitter : taraminmin1
PixivID : 1186456

こんにちは。
チューハイが好きな
はるまです。
いままでは2色や3色で
どろどろにしていたが
今回はあえて1色にしてみました。
楽しんでいただければ幸いです。
1色でもえっちなぞ



はるま
twitter : messy_illust
PixivID : 17558942



ヤネウラ
twitter : yaneur_seiheki
PixivID : 16423755

前回に続き参加させていただき
ました、ヤネウラと申します。
タイトルの通りではあるの
ですが、見た目そっくりな双子の
片方だけが絵の具でグチャグチャ
にされるようなシチュが
ずっと描きたかったもので…
やっと形にすることができ
ました…!!
今回初めてイラストという
形での参加になりますが、
その分絵の具まみれで
カラフルな女の子をじっくり
堪能出来ると思います♪

P.S. 今回のシチュ、某31番の
アイスクリーム屋さんで
思いつきました。
あのお店、メニューの
色とりどりのフレーバーを
眺めるだけでも楽しいです
よね…メッシーフェチ的にも…



Teto
twitter : TetoReal

先日伊豆に泥湯があると聞いて
行ってきました。
泥パック用の泥がタッパで
山盛り置いてあってご自由に
塗ってくださいというコレジャ
ナイ感。でもこれはこれで
良かったのでおすすめします



～奥付～

発行誌名:WAMWAM3

製作:サークル「まみれ亭」

サークル代表者:とろろ首領

合同誌主催:とろろ首領

連絡先:okaradon@gmail.com

発行日:2019/08/11

コミックマーケット96

印刷:有限会社 ねこのしっぽ

